

ぬく み だいら たん けん 温身平探検マップ

もり はい 森に入るときには

もり 森のなかを歩いてみよう!!


1周約5km 手つかずの自然がぎっしり! ブナ林ウォーキングコース

もり じゆ もく あ い 森の樹木に会いに行こう

森に入ったことがありますか?
森のなかでは、たくさんの樹木が思い思いに枝をのび、季節がくるときれいな花やおいしい実をつけます。木はしゃべることはできませんが、実はとても個性的。花や実は、自分がここにいることを周りに伝える合図なのです。虫や動物たちはその実を食べ、蜜や樹液を吸ったり、種を運んだりすることで木と自分たちの命をつないでいきます。かつては私たちが暮らす町や村に密接に結びついていた森の大切さを、あらためて見直そうという活動がさかんになっています。その大切な森や私たちの暮らしを守るために「砂防えん堤」という施設をつくっています。まずは、表情豊かな森の樹木たちに会いに行ってみましょう。



ポイント 18 ●梅花皮沢第4号砂防えん堤

土砂災害が起こらないよう、土砂の生産や流出を防いでいます。ここからは、本格的な登山道。約3時間歩くと、石転び沢出合いの大雪渓を見ることができます。




ポイント 17 ●玉川上流第2号砂防えん堤 ●飯豊本山を望むポイント

土砂災害の原因となる土砂がつかれたり、流れ出るのを抑制します。また、スリットが土砂調節機能を増大させ、魚道の機能も果たしています。飯豊山へ通ずる登山道で飯豊山を望むことができます。



ポイント 16 ●玉川上流第1号砂防えん堤 ●エゾアジサイ

自然環境と共生しながら、砂防えん堤がより高い土砂調節機能を発揮するために、既設の砂防えん堤のスリット化や魚道を設置しています。エゾアジサイは、1~1.5mの高さになります。



ポイント 15 ●梅花皮沢第1号砂防えん堤 ●アイスハーバー型魚道

羽根災害で流出した土砂を抑制するためにつくられた砂防えん堤。アイスハーバー型の魚道は魚が休息できるところをつくることにより魚が上っていきやすしくみになっています。


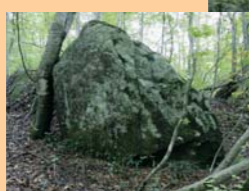
ポイント 14 ●温身のブナしずく

ブナの根元から湧き出る清水は、日本酒の醸造にも使われたことのある美味しさ。ここで一息入れましょう。



ポイント 12 ●温身の池 ●巨石

モリアオガエルの卵等を見ることができます。巨石に丸みがあることから、昔ここが河原だったことがわかります。

ポイント 17 ●玉川上流第2号砂防えん堤 ●アズマイチゲ

多年草であるアズマイチゲは、一本の茎に一つの花を咲かせるので一茎と呼ばれます。



ポイント 16 ●玉川上流第1号砂防えん堤 ●エゾアジサイ

葉は丸く光沢があり、花の先は大まかに5裂し、先端は細かく裂けているのが特徴です。



ポイント 15 ●梅花皮沢第1号砂防えん堤 ●アイスハーバー型魚道

羽根災害で流出した土砂を抑制するためにつくられた砂防えん堤。アイスハーバー型の魚道は魚が休息できるところをつくることにより魚が上っていきやすしくみになっています。





ポイント 13 ●温身平の看板

稜線に帽檐岳、梅花皮小屋を望むことができます。石転び沢雪渓、北股岳へつづく登山道の分岐点です。




ポイント 11 ●河岸段丘

何段にもおよぶ小さな段丘は、川の氾濫によってつくられた階段状の地形。長い年月をかけてつくられた自然の芸術です。




ポイント 10 ●マタギ屋敷

昔、狩猟、山菜・きのこ採りの人たちが約20人寝泊まりできるマタギ小屋がありました。




ポイント 9 ●こごみ平 ●ホオノキ

ホオノキの葉は大きいので、お面をつくって遊んだり、食べ物を包んだりするのに使われます。初夏には、とても大きくて薄い黄色の花が咲きます。



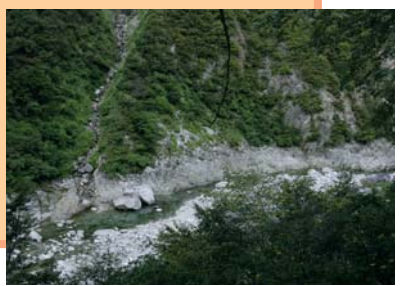
ポイント 8 ●ミズナラの大木

大木のなかでもひとときわどっしりとした、幹周りが5m以上はありそうなミズナラの大木が立っています。




ポイント 7 ●イタヤカエド ●ツルアジサイ ●玉川の清流を見下ろせるポイント2 ●ミズナラの大木 ●大きな石

川側の林がひらけて、ヤナギなどの沼刈いを好む木や斜面のホツツジなどの低木がよく見られます。川のわきに大きな石が転がっています。




ポイント 6 ●チマキザサの群落

林のなかにササが密集している場所があります。ササは、地下に伸ばした根から芽を出し、よく増えるので、他の植物は生えにくくなります。



ポイント 5 ●飯豊山荘ポイント、ベンチ ●イワウチワ ●ミズナラの大木

けもの道を玉川に向かって進むと、丸太でつくったベンチがあります。そこから玉川方向に飯豊山荘を眺めることができます。足元には丸くてつやのある葉が特徴のイワウチワが見られます。



ポイント 4 ●ツルアジサイ

ツルアジサイは木や岩や砂防えん堤にはい登るアジサイの仲間。花はガクアジサイ(額装陽花)に似ています。



ポイント 3 ●タムシバ・コブシの大木

タムシバとコブシは同じ仲間でも似ています。どちらも春の早いうちに白い花をつけますが、コブシは花の下に葉がつくのが特徴です。



ポイント 2 ●玉川の清流を見下ろせるポイント1

季節ごとに表情を変える美しい渓谷。中小規模の洪水が流れるところにはヤナギが生え、洪水のないところにはブナが生えています。



ポイント 1 ●サワグルミの大木

山の沢沿いによく見られるサワグルミの木が数本かたまって生えています。




ポイント 10 ●ヤチダモの巨木

樹齢約190年のこの木は、幹の周りが465cm、樹高34mの大きさです。



ポイント 11 ●シャクナゲ

白またはピンクの花が咲きます。高さ2~3mのものから30cm程度のものまでさまざまです。



ポイント 12 ●ドノキ

早春、葉の出る前に花が咲く川岸などに多い落葉高木。初夏に果樹が熟すとなから白い綿毛に包まれた種が飛び出します。



特別な装備をする必要はありませんが、体を守るちょっとした洋服の選び方や、持っている便利な道具があります。

服装

長そで・長ズボン

木の枝で肌を切ったり、蚊や虫にさされないように夏でも長そで・長ズボンを着ましょう。また、黒っぽい服はスズメバチにおそわれる危険があるので避けましょう。

つばつき帽子
日差しよけのためにかぶりましょう。

動きやすい靴
長靴や運動靴をはきましょう。

持ち物

- 軽いリュック
- 雨具 (たたためるカッパなど)
- 水筒 (水、お茶を入れます)
- 軽い食料
- 軍手
- 地形図
- 通気性のある袋 (拾った種などを入れるのに便利です)
- 時計
- ビニールテープ (目印にするので目立つ色の物を)

し ぜん あそ 自然で遊ぼう!!

葉っぱスタンプで絵ハガキをつくろう!

森のなかで見つけた葉をスタンプにして、オリジナル絵ハガキをつくろう。気に入った形の葉をできるだけたくさん集めよう。

準備するもの

- ・スタンプ台 (油性のものが使いやすい)
- ・ハガキ (厚紙)
- ・新聞紙 (パレン)

遊び方

- 1 森のなかで見つけた何枚かの葉をハガキの上に自分の好きなようにおきます。
- 2 葉をスタンプ台におつけてインクをつけます。
- 3 インクのついた葉を紙の上におき、新聞紙にはさんでおつけます。(パレンがある場合はそれでこす。)
- 4 あとは自由に絵や文字を書いてできあがりです。絵ハガキは友だちや家族にメッセージをつけて、送ってみましょう。厚紙で作品をつくらせて展示会をしても楽しいね。

- 葉の表と裏、どちらがおもしろいスタンプになるかな。
- 種類のちがう葉を集めて、その形や模様のちがいをくらべるのもおもしろいね。

くっつく実を探そう!

森の植物の実や種のおもしろい特徴を調べてみよう。

遊び方

- 1 秋の森を歩いて、体にくっつく植物の実や種を見つけます。
- 2 虫めがねで実や種を観察して、くっつくしくみを見てみよう。

●どうして人や動物の体にくっつくのか、考えてみよう。